

ケアマネみやざき

2015

明けて
おめでとうございます

一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.14
平成27年1月1日発行
発行責任者
担当理事 坂口 和幸

「会長挨拶」

わが国では世界に例を見ない速さで高齢化が進行しており、今後も高齢化率（平成26年10月現在本県では28.6%）は上昇を続け、これまで経験したことのない社会の到来が見込まれています。宮崎県は全国平均よりも5年程度早いペースで高齢化が進んでおり、本県の総人口が平成9年以降減少している中、介護サービスを中心に高齢者に対する保健福祉サービスをいかにして進めるかが重要です。そこには、少子高齢化、要介護（支援）認定者の増加、単独世帯の増加、認知症高齢者数の増加、介護の担い手の不足という大きな課題が現存しています。



そこで、国は支援や介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制の整備を促進するために「地域包括ケアシステム」の構築を率先しています。その実現のために利用者のニーズに応じて、①医療との連携強化、②介護サービスの充実強化、③予防の推進、④見守り等の生活支援サービス、⑤高齢期になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備、5つを適切に組合わせて提供し、地域社会全体として、24時間365日を通じた対応が可能なシステムを構築し、入院、退院、在宅へ復帰を通じて切れ目ないサービスを継続的に提供することを目指しています。

疾病を抱えても、住み慣れた生活の場で療養しながらも自分らしい生活を続けるためには、それぞれ住民に身近な地域で医療・介護の関係機関が密に連携し、多職種協働による在宅医療・介護連携体制を構築することが重要であることは言うまでもありませんが、その連携の要を担っているのはケアマネジャーであります。ケアマネジャーの専門性と資質の向上については大きな期待が求められているのは周知のところですが私たちは自らの職種を守っていくためにもその期待にしっかりと応えていかなければならないと考えます。

昨年度末には、『ケアマネジャーの待遇改善や介護支援専門員の研修体系に対する提言、国家資格』などに対する県内の会員の皆さまの意見を集約し、国に伝えていくために3層構造構築の御承認をいただきました。このことにより、日本介護支援専門員協会は社会保障審議会介護給付費分科会等に参加して私たちの意見を直接、かつ迅速に国へ提言することができました。まもなく行われる平成27年度の介護報酬改定を前に、「認知症加算及び独居高齢者加算の基本報酬への包括化」、「特定事業所集中減算の見直し」、「医療ニーズがある要介護者に対するケアマネジメントへの『医療マネジメント加算』」など、都道府県支部からの要望に応えた意見陳述が行われています。

先頃施行された「医療・介護総合推進法案」では地域における医療及び介護の総合的な確保を推進すべく、多くの取り組みが検討されています。私たちケアマネジャーもその一翼を担う職能団体として一致団結して、目線の先の利用者の幸せを願いつつ邁進して参りましょう。今年もどうぞ、よろしく願い申し上げます。



ケアマネナビゲーター活動が始まりました



ケアマネナビゲーターって??

国では、介護支援専門員の資質向上と今後の在り方に関する検討会における議論の中間的な整理の中で、様々な課題をあげ

- 1、介護支援専門員自身の資質向上に係るもの
- 2、介護支援専門員が自立支援に資するケアマネジメントが実践できるようになる環境整備に係るもの

以上2つを今後の介護支援専門員の在り方として見直しが必要との視点でとらえられています。

そこで宮崎県介護支援専門員協会では、宮崎県の助成を受け、2つの見直しの視点が実現できるよう、介護支援専門員の中からケアマネナビゲーターを選考し、介護支援専門員に対するスーパーバイズ機能等の補完として巡回相談・助言指導を実施する活動です。

具体的には、地域にある居宅介護支援事業所にケアマネナビゲーターが出向き、そこに所属している介護支援専門員の、

- ・ケアマネジメント業務に関する悩みや相談の対応
- ・ケアプランの内容について
- ・ケアプラン適正化支援マニュアルを基にした助言

などの、個別具体的な支援を行います。

そこで得られた結果や地域における課題については、宮崎県介護支援専門員協会を通じて、県へ報告するとともに、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員へ情報提供します。

※ここ大事ですよ!※

したがって、ケアマネナビゲーターは、介護支援専門員の相談や助言を行うのであって、実地指導ではありません。ケアマネナビゲーターは、同じ専門職としての悩みや課題を共有し、その解消のために橋渡しをしてくださる方々です。

平成26年度診療報酬改定に関する勉強会報告

平成26年9月28日(日)JA・AZMホール本館大研修室において、宮崎県介護支援専門員協会主催の「平成26年度 診療報酬改定に関する勉強会」が開催されました。

この研修は平成26年度診療報酬改定の概要を知ることで、介護支援専門員業務との関係性を学び、利用者支援につなげることを目的に開催されました。

県協会副会長であり医療法人社団仁和会 竹内病院 地域連携室の長友あかね氏より医療現場の現況、報酬改定の内容、介護支援専門員との連携の重要性等について解りやすく説明があり、介護支援専門員が医療機関と連携をとることの重要性を認識できる勉強会でした。



地域ブロックネットワーク 活動報告の巻

西都・児湯ブロックネットワーク研修 ☆ 平成26年9月13日(土) 高鍋町社会福祉協議会 ☆
テーマ 『介護保険改正を受けた背景とポイント』

講師 NPO法人みんなのくらしターミナル 初鹿野 聡先生

来年度の介護保険改正に向け、地域包括ケアシステムの構築が求められている中で、現在の動向、各市町村の取り組み等をわかりやすく説明頂き、今後は行政・各事業所・地域・住民レベルでの相互的な支え合いの中で幅広い視点での捉え方が必要であるとお話がありました。参加者の方々も今後の動向が気になるテーマという事で熱心に受講されていました。



延岡・西臼杵ブロック研修会 ☆ 平成26年10月18日(土) 高千穂町保健福祉総合センター ☆
テーマ 『認知症高齢者のケアについて』～医療経験者の立場から(私見)～

講師 理学療法士 高口 聡 先生

「ケアとは気づく・心配する・考える・そして行うこと」「ICF生活機能で人を理解すること」「地域全体で認知症を理解すること」そして認知症施策の今後の方向性として認知症ケアパスの作成・普及地域で生活を支える医療と介護の連携構築が必要であること等のお話があり、このような動きの中で、介護支援専門員が大きな役割を担っていることを改めて認識できる研修でした。



日向・東臼杵ブロック研修会 ☆ 平成26年10月25日(土) クリエティブセンター門川 ☆
テーマ 『生きる支援とは』～その人らしく生きる支援～

講師 Uビジョン理事 地域ネットワーク「さつき会」会長 松本 由美子 先生

日向・東臼杵ブロックネットワーク研修会では、「生きる支援とは」そのひとらしく生きる支援をテーマとし講義が行われました。

アセスメント能力を高めるためにはどうしたら良いか情報を収集するには、どのような聞き方をするとその人らしく生きられる支援ができるのか？私達介護支援専門員が考えられさせられ、また気づきの多い楽しい研修となりました。



この研修会を『つながり通信』として県協会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください！

日南・串間ブロック研修会 ☆ 平成26年11月21日(金) 特別養護老人ホーム寿楽園 ☆
テーマ 『医師とケアマネジャーの連携に必要なこと』

「医師とケアマネジャーの連携に必要なこと」のテーマで、ワールドカフェ形式にて行いました。助言者には日南、串間の病院から医師5名、日南保健所から保健師2名の方にご参加いただき、研修参加者が興味のあるグループにそれぞれ移動し意見交換を行いました。

今回は、介護支援専門員71名の参加がありました。会員外の参加も多数あり、今後の会員増に向けてよい研修会となりました。



宮崎県版ケアプラン点検支援マニュアルの完成について



宮崎県では「第2期宮崎県介護給付適正化計画」の中で、市町村が行う適正化支援事業の一つとして、ケアプラン点検をあげています。しかしながら、平成22年度の実績は約半数の市町村が取り組めていない状況となっています。その課題として、①マンパワー不足、②現在のマニュアルが使用しづらいなどがあげられました。

こうした状況を踏まえ、宮崎県介護支援専門員協会は県から委託を受け「宮崎県版ケアプラン点検支援マニュアル」の作成に取り組んできました。

このマニュアルは、客観的評価基準を示しながら、介護支援専門員と保険者担当者が共同してケアプランの内容を確認し、介護支援専門員自身が「自立支援とはなにか、より良いケアプランとは何か」と気づくことが、ケアプランの質の向上に繋がり、ひいては給付適正に繋がることを目的としたものになっています。また、介護支援専門員の自己点検の方法としての活用も期待されています。

ただ今、県協会のホームページにて「宮崎県版ケアプラン点検支援マニュアル」がダウンロード出来るように準備中ですので、今しばらくお待ちください。

『介護支援専門員のための介護保険改正講座』開催のお知らせ

日 時 : 平成27年3月22日(日) 10:00~12:00

場 所 : JA・AZMホール

講 師 : 日本介護支援専門員協会 相談役 木村 隆次 氏

※大変貴重な勉強会です。是非多くのご参加をお待ちしています

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成26年11月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	566	14
小林・えびの・西諸	94	0
西都・児湯	81	0
日南・串間	90	1
都城・北諸県	158	7
日向・東臼杵	120	0
延岡・西臼杵	115	0
合 計	1,224	22

平成26年度介護支援専門員実務研修受講試験の宮崎県の合格者数は、356名となりました。

1月から研修が開始されますが、一人でも多くの方に、県協会へ入会していただけるよう会員の皆様からのお声掛けよろしくお願い致します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



今年は、いよいよ介護保険改正の年ですね。年度末でばたばたしないように、改正に向けての情報収集と準備をそろそろ始めようとは考えているのですが、なかなか重い腰と、固い頭が動いてくれません……かなり厳しい改正かもしれませんが、ここは一致団結して気張って乗り切りましょう(^_^)

会員の皆様も何かとお忙しいとは思いますが、お互い健康に留意し頑張りましょう。 K.S